

# 林業現場ガチンコ撮影日誌

～ 最盛期！下刈り現場編 ～



草に覆われ助けを呼ぶ苗木達を助ける下刈り作業。苗木のそばにカメラを置かせてもらいました。

北海道森林管理局では、林業という仕事をPRするため、林業で行う植付け、下刈り、伐採といった様々な作業を紹介する動画を道央森林整備事業協議会と協力して製作しています。

7月19日に最初の取材として、胆振東部森林管理署の糸井国有林(苫小牧市)で行われている「下刈り」作業の撮影を行いましたので、そのときの模様を紹介します。

よう、草を刈る作業です。炎天下の暑い中での作業ですが、刈り払い機の事故やハチの被害を防止するため、袖絞りの良い服装と、鉄芯入りの脚絆、作業用手袋は必須です。最近では扇風機が内蔵された、空調服も活用されています。

ベテランになると、刈り払い機を滑らせるように扱って、苗木をいっさい傷つけずに周りの下草だけを刈っていきます。

炎天下での作業は大変ですが、作業後は繁茂した下草から救出された苗木達から感謝の声が聞こえてきます。(大変な作業なので、機械化や回数を減らすため



作業の合間に刃の目立て作業



下刈り作業道具一式

の工夫も始まっています。前号もご覧ください！)

撮影は始まったばかりですが、アクションカメラやドローンを活用し、現場で頑張る作業員の皆さんとリアルな林業現場の魅力をお伝えできるよう、撮影班一回頑張ります！



作業後のインタビューでは、いろいろなお話を聞かせていただきました。



撮影では刈り払い機、ヘルメットにアクションカメラを取り付けさせてもらいました。ご協力いただいた(株)イワクラの皆様ありがとうございました。

